

なかつか 亮



品川区議会開催中です(10月21日まで)

放射能汚染から子どもを守ろう

測定の徹底と除染・内部被曝対策を



品川区議会本会議で、共産党は原発撤退、マンション震災対策、商店街支援、保育園・特養ホーム増設、災害時要援護者、住宅リフォーム助成復活、放射能汚染対策などを幅広く論戦。各委員会では条例改正や補正予算、請願陳情の審査などが行われました。

内容につきまして、このニュースで、できる限りわかりやすくお伝えしたいと思いますが、週1回B5版のニュースでは、いささか限界が…。よって詳しく知りたい方は、ご遠慮なくご連絡下さい。今回のニュースは放射能汚染対策について取り上げます。

22日の本会議で共産党は、放射能汚染から子どもの命と健康を守る対策を求めました。

福島原発事故で放出された放射性物質は「広島原爆20個分」と言われるほど莫大なもの。とりわけ放

射能汚染の感受性が高い、子どもの命と健康を守る対策は急務です。

共産党は①放射能汚染測定の徹底と除染対策②子どもの内部被曝を抑える対策を柱に具体的な対応を求めました。

「安全が確認された食材が流通している」「ホットスポット探しは風評被害をまき散らす」**品川区**共産党は放射線測定について、区立だ

けでなく私立の幼稚園や保育園、ホットスポットになりやすい芝生、草むら、滑り台の下なども測定の対象とすること、値が高い場所は除染など対策を行うことを求めました。

ところが区は現在、区内で実施している大気中と土壌の放射線測定結果が国際基準を下回り、数値が安定していること、学校給食の食材については…(裏へ)

安全が確認されたものが流通しているとし、「改めて区が測定する考えない」と説明。「現段階で品川区では福島原発の影響は出ていない。4キロ四方の品川区では、きめ細かく測定をやる意味はない」と答弁しました。

区の現在の放射線測定とは、大気中の測定は地上1m2箇所、土壌測定は区立施設のみを対象とし、一施設一箇所のみ。この値だけで「品川区では福島原発の影響は出ていない」と結論づけるとは、なんと非科学的です。

共産党は「危険なホットスポットは測定しなければ、どこにあるのか判らない」と

と反論すると、区は「ホットスポット探しのような、風評被害をまき散らすことは行政は行わない」と答弁しました。

東京23区の中でも、各地でホットスポットが発見され、砂場の砂を取り替えるなど除染対策が進められていきます。測定の徹底を「風評被害をまき散らす」と説明する品川区は、放射能汚染の子どもへの影響を心配する保護者の気持ちを、どう考えているのでしょうか。区民の命と暮らしを守る行政の大切な役割です。

保護者の署名 全会一致で「採択」

こうした品川区の対応のいっぽうで、

「品川区の子どもたちを放射能被ばくから守る為の陳情」が品川区議会に提出。「子どもたちは未来をつくる大切な存在。その子どもたちを守るために私たちは今、何をすべきか考えました」と訴え「ホットスポットの調査と把握」「給食食材の独自検査」「高線量部位の速やかな除染」などを求めました。

陳情書は26日の文教委員会で審査され、全ての会派が賛成。全会一致で主旨採択に。品川区の対応について見直しを迫る形となりました。

今後とも放射能汚染から子どもたちを守る対策を求め、頑張ります。なかつか亮

大井6丁目 水害対策が前進

—横断グレイチングが設置されました—

昨年の12月3日の集中豪雨で大井6丁目の半地下駐車場が80%の浸水。車が水に浸かる被害が発生しました。近隣住民から相談を受け、品川区に対策を要望。この度、横断グレイチングが設置され、雨水の排水が改善されました。

先日も台風15号が東京を襲い、区内でも倒木や屋根がはがれるなど被害が起きました。被害情報を是非、お聞かせください。対策を品川区に求めるため、現地を確認したいと思います。



大井6丁目に完成した横断グレイチング（マル印）。設置により、道路が雨水で川のように流れることを防ぎます。

今月の『気軽な町の無料法律相談会』のお知らせ

10月28日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**